

吉備中学校文化祭で 手話コーラスを披露

近年、テレビドラマやSNSなどで「手話」を目にする機会が多くなってきています。
その中で、11月23日（水・祝）に吉備中学校文化祭で3年生が「手話コーラス」に挑戦しました。

「手話」とは、主にろう者がコミュニケーション方法として用いる言語で、その手話を使いメモディーに合わせて歌詞を手話で表現するのが「手話コーラス」です。

手話コーラスに挑戦したきっかけは、昨年12月に有田川町で手話言語条例が制定されたことです。条例には「手話について興味を持ち理解を深めること」などが盛り込まれており、学校を上げて手話学習に取り組みることになりました。

手話学習の第一歩は、生徒会による「手話を知ってみよう」という試みでした。実際にろう者に話を聞いたり、手話を習ったりしていく活動の中で「手話で歌を歌おう」と声が上がりが、今回の挑戦に至りました。

生徒は、あらかじめ録画しておいたお手本の動画を何度も見て、指や手の動きを覚えて練習に励んでいました。

挑戦した生徒は「手話は知っていましたが、手話コーラスのために動きを覚えたり、リズムに合わせて手話をしたりすることが難しかったです。でも、それが楽しい。これからは手話を勉強していきたい」と話してくれました。

今後は、総合的な学習の授業のひとつとして手話の学習を行い、手話や聴覚障害に関する理解の促進を図っていく予定です。



続けてみよう！

手話でしりとり！「か〇」

手話で「しりとり」していきましょう。
皆さんはどんな言葉をつなげていきますか？



軽く膨らませた両手を合わせ
指先を開閉させる。

先月号の答えは「スイカ」でした！
今月の答えは次号で発表！

ヒント…潮干狩り、お吸い物

※手話は、使う人やコミュニケーションをとる相手などによって異なるため、
ここで紹介している手話と違う表現を使うことがあります。

有田川町職員向け手話教室

有田川町役場職員向けの手話教室を
毎年2回実施しています。

手話や聴覚障害に関する理解を深め、
手話が分かる職員を増やしています。

